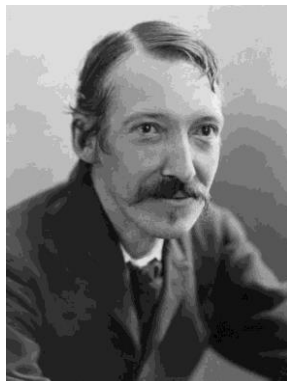


『Mind Charging』

第 102 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 9 月 2 日

スティーブンスンの名言



To travel hopefully is a better thing than to arrive, and the true success is to labour.

希望を抱いて旅をすることの方が、到着することよりもよいことだ。

真の成功とは目的に向かって努力することである。

この言葉でいう『成功』というひとつの“結果”よりも、そこに行きつくまでの“過程”が大切だという話をよく耳にします。私はどちらも重要だと考えています。また、『失敗』という結果も捉え方ではマイナスにならないと信じています。そういう意味で、過程というものは、ひとつの結果(データ)を得るためのトライの仕方ということであり、それもまた一つのデータとなります。

スティーブンスンという人物は、この言葉から推測すると『人生の深さ(面白さ)』を追求し続けた人なのだろうと思います。ひとつの結果(ゴール)に到達した次の瞬間に、新たなゴール(目標)を目指してリスタートすることを楽しんでいたような気がします。もしかしたら彼はゴールというよりは、設定していた色々な目標は全て“チェックポイント”のように捉え、自分がこの世を去ると悟る瞬間に『素晴らしい人生だった』と感じられることのみをゴールとし、そのために多くのチェックポイントを通過しておきたいというような考えだったのかもしれませんがね。

間違いなく私たちはこの世に何らかの“役目”を持って生まれてきているはずですが。どのような形で役目を果たすことができるのか。それを自分への挑戦という『旅』として進んでいくことで人生は充実するものと信じています。

(編集委員：入試広報室 鈴木)

ロバート・ルイス・スティーヴンソン(Robert Louis Stevenson、1850年11月13日 - 1894年12月3日)は、イギリスのスコットランド、エディンバラ生まれの小説家、詩人、エッセイストである。代表作に冒険小説『宝島』『ジキル博士とハイド氏』など。生時の名はロバート・ルイス・バルフォア・スティーヴンソン(Robert Lewis Balfour Stevenson)。「スティーヴンソン」「スチーブソン」とも表記される。(Wikipedia 参照)